

名古屋大学大学院環境学研究科 准教授または講師 公募要領

1	募 集 件 名	准教授または講師の公募	
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構	
3	所 属	名古屋大学大学院環境学研究科 社会環境学専攻 地理学講座	
4	募 集 内 容	[職務内容] (雇入れ直後) 地理学の分野において、人文地理学を中心に、環境学研究科の中長期ビジョンに貢献する教育と研究をおこなう。 教育・人材育成：環境学研究科および兼務する文学部における地理学の教育、とりわけフィールド教育を通じて、環境分野の仕事に携わる人材と幅広い知識を持つ専門家の育成を担う。 研究：社会環境学と地球環境科学・都市環境学との接点として地理学の学理を深めながら、フィールド学の方法に基づいて研究フロンティアの拡充を担い、文理融合型環境研究の国内研究拠点の発展に積極的に貢献する。 とりわけ大学院生および学部生の研究指導に意欲的に取り組み、環境学研究科にとどまらず、兼務先の文学部（人文学研究科）をはじめとする学内他部局の教員と連携・共同した教育と研究に主体的にかかわり、地理学および環境学の新しいフロンティアを拓くことが期待される。 職務内容のうち、単独もしくは共同・分担で担当する授業科目（予定）は、大学院環境学研究科（博士前期・後期課程）および文学部における地理学と関連分野に関する講義・演習（セミナー）・実習・講読、全学共通教育における地理学に関する講義・演習（セミナー）である。また、全学関係、環境学研究科および社会環境学専攻、文学部、地理学講座それぞれの管理・運営等に関する諸業務も職務に含まれる。 (変更の範囲) 東海国立大学機構が指定する業務 [勤務地] (雇入れ直後) 愛知県名古屋市千種区 (変更の範囲) 東海国立大学機構が指定する就業場所 [募集人員] 准教授または講師（任期無）・1名 [着任時期] 2027年4月1日以降のできるだけ早い日	
5	募 集 研 究 分 野	大分類	人文・社会
		小分類	人文地理学、地理学
6	勤 務 形 態	常勤（年俸制） 契約期間：期間の定めなし 試用期間：なし	
7	応 募 資 格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] 以下の要件を備えた人材を募集する 1) 博士の学位を有すること 2) 人文地理学の専門分野における十分な学識を持ち、優れた研究業績を有すること	

		と 3) 環境学研究科および文学部（全学共通教育を含む）における地理学の教育・研究指導（地域調査の指導を含む）を担えること 4) 海外でのフィールドワークに基づく研究の実績があること、または、国内でのフィールドワークに基づく研究の実績があり、海外でのフィールドワークに強い意欲を有すること 5) 地球規模課題の解決に資するための文理融合型の共同研究に主体的に取り組めること 6) 教育・研究指導のために十分な日本語能力を有すること、また、必要に応じて英語で教育・研究指導がおこなえること
8	待 遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、保険等）] ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110010928.html ・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110001585.html ・専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされる。 ・休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日） ・加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 ・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止
9	応 募 期 間	2026年9月4日～2026年10月30日
10	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	[応募方法（提出書類の送付先）] 1) 履歴書（学歴、職歴・教育歴、賞罰、学会における活動、社会における活動） 2) 研究業績目録（以下の項目に分けて記載すること） ・著書（単著・共著・分担執筆等の別を併記すること） ・原著論文（査読の有無を併記すること） ・その他の出版物 ・研究発表（招待・基調・一般講演、口頭・ポスター等の別を併記すること） ・競争的資金の獲得実績（代表者・分担者等の別を併記すること） 3) 主要な著書・原著論文の別刷またはコピー（合わせて5編以内、著書の場合は現物も可とする） 4) 教育実績と抱負（2,000字程度、抱負は大学院と学部に分けて述べること） 5) 研究実績と抱負（2,000字程度、国内外における地理学の現状と課題、環境学における自らの研究の位置づけ、文理融合型の環境学研究への貢献に触れること） 6) 類型該当性の自己申告書 注）以上の書類を紙媒体ではなく、PDFファイルで作成し、それを収めたUSBメモリ等を、「地理学講座教員応募書類在中」と朱書き（表面）した封筒に封入の上、応募期間内（必着）に下記宛に簡易書留等で郵送すること。なお、主要業績に書籍がある場合は、書籍現物の提出を可とする。上記の1)～5)の様式は任意とするが、6)については、名古屋大学が定める下記の所定の様式で作成して提出すること。

		http://www.env.nagoya-u.ac.jp/jobs/index.html [提出書類の送付および問い合わせ先] 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 D2-1(510) 名古屋大学大学院環境学研究科 高橋 誠 Tel: 052-789-4743 Email: makoto.takahashi@nagoya-u.jp
		[選考内容（選考方法、採否の決定）] - 書類選考の上、2026 年 11 月 9 日～25 日（予定）の期間に面接を実施する。なお面接は、場合によりオンラインで実施することがある。 - 面接実施者については、原則として電話で連絡を行う。上記の履歴書中に電話番号およびメールアドレス等の連絡先を必ず記載すること。
11	そ の 他	- 別件の名古屋大学大学院環境学研究科 社会環境学専攻 地理学講座における教員公募（教授、准教授または講師、応募締切 2026 年 9 月 14 日）と重複して応募することは、これを妨げるものではありません。 - 名古屋大学は業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 - 提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 - 応募書類（USB メモリ等を含む）は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。ただし、主要業績として提出した書籍の返却を希望される方は、必ず返信先を記した返信用の封筒を同封してください。 - 面接に要する費用（交通費・宿泊費等）は支給しません。 2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。 - 本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の関連 URL を参照下さい。 ジェンダーダイバーシティセンターWeb サイト： https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロングング(Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB) 推進宣言： https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html - 本学では、県外から本学への応募又は着任を検討している研究者・教員を対象に、地域情報並びに配偶者・パートナー等の就業及びキャリア形成に関する情報提供や相談対応等を行う「パートナー帯同プログラム」を実施しています。 詳細は下記をご覧ください。 https://valueglow.jp/relocation/participant/portal.html?univ=nagoya_u - 出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。